

## 第66回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第1報でご案内いたしましたように、第66回日本体力医学会大会を下記の予定で開催する準備を進めています。一般発表の登録および学会誌「体力科学6号」抄録原稿の提出はすべて**大会ホームページ**上で行います。

本大会の一般発表への応募は学会員に限ります。本年度は、共同研究者は学会員でなくとも構いません。

### 記

1. 会 期：平成23年9月16日(金)、17日(土)、18日(日)
2. 会 場：海峡メッセ下関、下関生涯学習プラザ（下関市）
3. 大会長：江橋 博（東亜大学教授）
4. 大会事務局：東亜大学人間科学部スポーツ健康学科  
第66回日本体力医学会大会事務局  
事務局長：奥本 正（東亜大学）  
E-mail：okumoto@toua-u.ac.jp  
TEL：083-257-5168  
運営事務局：サンデン広告株式会社  
（下関市大坪本町25-33 TEL：083-232-5235）
5. 大会プログラム（予定）
  - （1）開会式
  - （2）大会長講演
  - （3）教育講演
  - （4）シンポジウム
  - （5）国際セッション
  - （6）ワークショップ（モーニングセッション）
  - （7）一般研究発表
  - （8）学会賞受賞講演
  - （9）ランチョンセミナー
  - （10）公開講座
  - （11）持久走大会

※プログラムの内容は決定次第、本大会ホームページ上で随時更新いたします。

日本体力医学会ホームページ：<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/>

第66回学会大会ホームページ：<http://www.tairyoku66.jp/>

# 参加登録方法

## 1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録の方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。

なお、事前登録の方にのみ、大会開催前に予稿集、ポケットプログラム、参加証をお送りいたします。

## 2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員		一般	12,000円	学生	7,000円

※非会員の参加登録は当日登録のみとさせていただきます。

## 3. 事前登録

### (1) 事前登録期間

平成23年4月11日(月)～7月31日(日) 正午まで

大会参加費の返金はできませんのでご了承下さい。

### (2) 事前登録の方法

事前登録はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い、登録を行って下さい。

第66回学会大会ホームページ：<http://www.tairyoku66.jp/>

※オンライン登録以外の登録はありませんので、ご注意下さい。

### (3) 大会参加費の支払い方法

大会参加費は、オンラインでの参加登録システムにおいて、(1)クレジットカード、(2)銀行振り込み、のどちらかの方法でお支払い下さい。

※ゆうちょ銀行の払込取扱票からの振り込みはできません。

- 1) 振り込みの際には、個人IDを登録する必要があります。個人IDは、オンラインにて個人情報登録後、メールにてお知らせいたしますので、必ずご記入下さい。

### 【銀行振込先】

銀行名：山口銀行 山の田支店 (店番号105)

口座番号：普通5004778

口座名義：第66回日本体力医学会大会 大会長 江橋 博

※参加者のお名前にてお振り込み願います。

※振り込み手数料は参加者のご負担にてお願いいたします。

## 4. 当日登録

事前登録をされていない会員、非学会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、会場内に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

## プログラム公募のお知らせ

### ワークショップ（モーニングセッション）、ランチョンセミナーの公募について

実行委員会では上記プログラムに関して、会員への一般公募を行います。応募数はモーニングセッション10演題、ランチョンセミナー 10演題です。募集要項がありますので、下記連絡先に問い合わせ下さい。

- 1) ワークショップは、テーマおよび司会、発表演者、所属、意義などを含めて企画立案をお願いします。1テーマは100分の時間枠で募集します。
- 2) ランチョンセミナーは、テーマおよび講演者、司会、協賛企業を含めて企画立案をお願いいたします。1テーマ60分の時間枠で募集します。

注) シンポジウムと教育講演の公募はいたしません。

#### 【応募方法】

第66回大会ホームページ <http://www.tairyoku66.jp/> から応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入し、下記のプログラム担当へお送り下さい。

詳細はホームページをご確認下さい。

#### 【応募期限】平成23年4月30日(土)

いずれも最終的な採否は実行委員会で行うことをあらかじめご了承願います。

採択したプログラムの抄録はUMINによるオンライン登録を行っていただきます。

#### 【連絡先】

実行委員会企画・プログラム担当

山口大学大学院・医学系研究科

宮田浩文

〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1

TEL：083-933-5866

E-mail：hiro@yamaguchi-u.ac.jp

## 各種研究会 会場提供について

各種研究会の会場の提供は、学会大会前日（平成23年9月15日（木））の午後1時～5時となります。場所は学会大会会場の海峡メッセ下関、下関生涯学習プラザを準備しています。研究会代表者の方は応募用紙を本大会ホームページからダウンロードし、研究会名、代表者名、参加人数、必要機器などを応募用紙に記入され、E-mailにてご連絡下さい。

**会場費、会場備品以外の機器使用が発生する場合の費用は研究会の負担となります。**

本大会が準備できる会場は**6会場**になります。応募期間までに申込数が会場数を上回った場合、**先着順**に採択させていただきます。

会場の大きさ、定員、使用料については大会ホームページをご覧ください。

各種研究会の問い合わせ、ご応募は下記までご連絡下さい。

### 【応募期間】

平成23年4月11日（月）～6月30日（木）

### 【応募先】

東亜大学人間科学部スポーツ健康学科

加藤雄一郎

E-mail：y.kato@toua-u.ac.jp

### 【問い合わせ先】

東亜大学人間科学部スポーツ健康学科

奥本 正

TEL：083-257-5168

E-mail：okumoto@toua-u.ac.jp

## 国際セッションの演題募集のお知らせ

日本体力医学会では、ヨーロッパスポーツ科学学会(European College of Sport Science, ECSS)をはじめとする海外の学会との相互交流を促進し、学会員の学術レベルを高めることを目的として、若手研究者を中心とした交流事業を平成11年度より実施しております。

今大会でも日本と海外の研究者の参加による「国際セッション」を開催いたします。発表形式は約15分～20分（質疑応答を含む）の口演の予定で、使用言語は英語です。発表を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

### 【応募資格】

45歳以下の日本体力医学会会員

### 【応募方法】

#### 1. 抄録作成要項

抄録は英文3,000文字以内（タイトルと演者、共同演者名、所属機関名は含めませんが、スペースは含みます）とし、MS Word で作成して下さい。図表は使用せず、参考文献は抄録の最後に記載して下さい。

#### 2. 送付方法

作成したファイルは電子メールに添付し、kats@tokyo-med.ac.jp 宛に送付して下さい。電子メールの本文中には氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記載して下さい。

#### 3. 締め切り

**平成23年 5月26日(木) 正午まで**

### 【連絡先】

〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1  
東京医科大学健康増進スポーツ医学講座  
日本体力医学会国際セッション係  
担当：勝村 俊仁

E-mail : kats@tokyo-med.ac.jp

TEL : 03-3351-6141 (内線237) FAX : 03-3226-5277

### 【選考方法】

日本体力医学会渉外委員会で審査し、応募演題の中から原則として3演題を選出いたします。

### 【結果通知】

選考結果は直接本人に通知いたします。

# 演題応募方法

## 1. 演題応募資格

演題応募ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります(会員番号は会員名簿に記載)。共同研究者は学会員である必要はありません。

非会員の方は、直ちに日本体力医学会ホームページからオンラインで、入会手続きを行ってください。(自動返信メールで会員番号が通知されます) F A X・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

## 【入会申し込み・問い合わせ】

事務局：一般社団法人学会支援機構内 日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン 4階  
Tel：03-5981-6015(学会専用) Fax：03-5981-6012 (学会支援機構)  
E-mail：jspfsm@asas.co.jp  
<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/>

## 2. 一般研究発表の種類と注意事項

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。本大会は、一般研究発表において、できる限り口頭発表を多くするようにプログラムを計画中です(約360題)。そのため、これまでの学会で行われていた発表者による発表形式の選択は行わないことにいたしました。発表形式の決定は実行委員会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。

なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

## 3. 一般研究発表の演題登録方法について

### (1) 演題登録期間

**開始：平成23年4月11日(月)**

**締切：平成23年5月26日(木) 正午まで**

発表者が平成23年5月27日(金)までに会員登録が未完了の場合、演題登録は受け付けられませんので、ご注意下さい。

### (2) 演題登録方法

本大会での演題応募は全て大会ホームページ上で行います。本大会ホームページの演題応募のバナーをクリックし、演題登録ページに入って下さい。その後、

手順に従って「新規登録ボタン」から必要事項を記入し、登録を行ってください。演題を最初に登録した際に自動的に登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録期間内ならば抄録は何回でも修正できますが、その場合、登録番号とパスワードの入力が必要となりますので、必ず控えておいてください。また、ここでの登録番号とパスワードは、後日「体力科学6号」掲載用抄録を登録する場合にも必要となりますので忘れることのないようご注意ください。

大会ホームページURL：<http://www.tairyoku66.jp/>

### (3) 登録における注意事項

#### 【大会予稿集抄録の字数】

演題、演者、共同研究者、所属機関本文を含めて総文字数650文字（25字×26行）以内で作成してください。小見出しも字数（20字）に含まれます。抄録には図表を入れることはできません。必要事項の記入漏れがあった場合、字数を超えた場合はエラーメッセージが出ますので、エラーメッセージにしたがい修正して下さい。エラーメッセージがなくなる限り、登録が完了しませんのでご注意下さい。

#### 【大会予稿集抄録の構造化】

大会予稿集抄録は【背景】、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の小見出しをつけてください。構造化されていない抄録は原則として採択いたしません。

### (4) 演題の受領および発表日時の通知

演題の受領通知は、電子メールにて行います。また、演題の採否は、大会実行委員会において決定し、7月上旬に電子メールにて通知いたします。発表日時は大会ホームページ上のプログラムで確認してください。

〈本大会で一般研究発表された演題の抄録は学会誌「体力科学6号」に掲載します〉

## 4. 学会誌「体力科学6号」の掲載用抄録の登録方法

### (1) 「体力科学6号」の掲載用抄録の登録期間

**開始 平成23年7月上旬（採択通知到着後から）**

**締切 平成23年9月29日(木) 正午まで**

締切を過ぎると「体力科学6号」への抄録の掲載ができません。

### (2) 登録方法

「体力科学6号」掲載用抄録の登録は、予稿集抄録登録と同様に大会ホームページから行って下さい。その際、一般研究発表の演題登録時に発行された登録番号とパスワードの入力が必要となります。

### (3) 抄録原稿作成時の注意事項

#### 【抄録の字数】

演題, 演者, 共同研究者, 所属機関, 本文を含めて総文字数1,248文字(26字×48行)以内で作成してください。小見出しも字数(20字)に含まれます。図表を入れることはできません。その他, 詳細に関してはホームページ上で確認してください。

#### 【抄録の構造化】

抄録は【背景】、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の小見出しをつけてください。構造化されていない抄録は原則として採択いたしません。

#### 【論文分類キーワードの添付】

論文分類のキーワードは3つ入力してください。

### 6. その他の注意事項

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号とそのときに決めたパスワードは大切に保管してください。登録番号, パスワードに関する問い合わせには, 運営事務局では, セキュリティーの関係上一切応じられません。
- (3) ホームページ演題応募に関するお問い合わせは, 下記運営事務局内 予稿集担当までご連絡ください。
- (4) トラブル発生などの情報はホームページ上に随時掲載いたしますので, お問い合わせの前に必ずご覧いただきますようお願いいたします。

### 演題登録に関するお問合せ先

#### 【第66回日本体力医学会大会運営事務局内 予稿集担当】

サンデン広告株式会社

担当: 神原 (かんばら)

〒750-0051 下関市大坪本町25-33

TEL: 083-232-5235 (平日9:00-17:00)

E-mail: r.kanbara@sanden-ad.com

## その他のご案内

### 1. 持久走大会

要項を大会ホームページおよび大会予稿集に掲載いたします。奮ってご参加ください。

### 2. 会員懇親会

今大会では、実施いたしません。

### 3. 宿泊・交通

サンデン旅行株式会社にて斡旋を委託しております。

詳細は大会ホームページにてご案内いたします。

### 4. 駐車場について

駐車場は海峡メッセ下関と下関市細江駐車場があります。駐車台数には限りがありますのでご注意ください。

- ・海峡メッセ下関 乗用車150台，営業時間7：00～23：00まで，料金30分につき100円

[http://www.kaikyomesse.jp/ac\\_map.htm](http://www.kaikyomesse.jp/ac_map.htm)

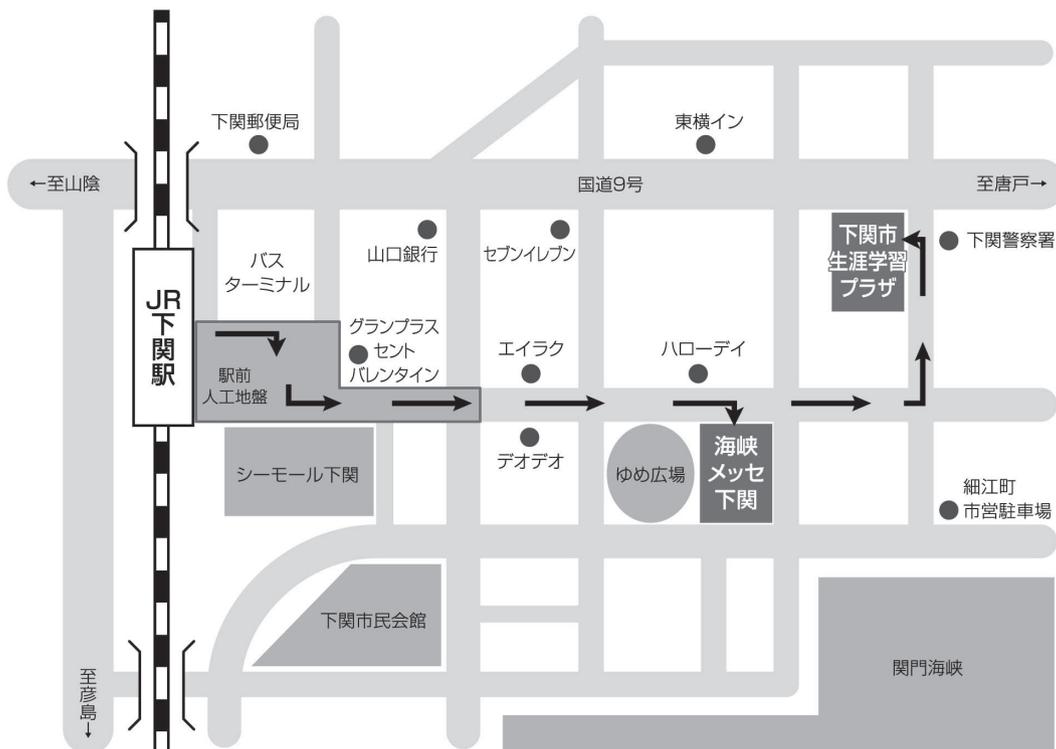
- ・下関市細江駐車場 乗用車510台，料金最初の1時間100円，以降20分100円  
長時間サービス料金

8：00～20：00 最大800円，20：00～翌8：00 最大700円

上記以外の駐車場についての情報は各自でお調べください。

### 5. 会場周辺の地図

会場の海峡メッセ下関と生涯学習プラザはJR下関駅から徒歩7分です（海峡タワーが目印です）。



# 論文の分類

## I 生理科学的研究

- I - 1 神経, 感覚
  - I - 1 - a 末梢神経
  - I - 1 - b 中枢神経
  - I - 1 - c 感覚
  - I - 1 - d 運動制御
- I - 2 運動器
  - I - 2 - a 筋生理
  - I - 2 - b 筋生化学
  - I - 2 - c 骨, 関節
- I - 3 呼吸, 循環
  - I - 3 - a 呼吸
  - I - 3 - b 心臓
  - I - 3 - c 末梢循環
- I - 4 血液, 免疫
  - I - 4 - a 血液
  - I - 4 - b 免疫
- I - 5 体液, 内分泌
  - I - 5 - a 体液, 汗, 尿
  - I - 5 - b 内分泌
- I - 6 代謝
  - I - 6 - a エネルギー代謝
  - I - 6 - b 糖代謝
  - I - 6 - c 蛋白代謝
  - I - 6 - d 脂質代謝
- I - 7 栄養, 消化
  - I - 7 - a 栄養
  - I - 7 - b 消化, 吸収
- I - 8 形態, 体構成
- I - 9 加齢, 性差
  - I - 9 - a 発育発達
  - I - 9 - b 老化
  - I - 9 - c 性差

## I - 10 環境

- I - 10 - a 温湿度
- I - 10 - b 気圧, 風圧
- I - 10 - c 低酸素
- I - 10 - d 高酸素

## I - 11 トレーニング

## I - 12 生活, 健康

- I - 12 - a 休養, 疲労
- I - 12 - b 健康管理
- I - 12 - c 疫学

## I - 13 バイオメカニクス

- I - 13 - a 力学的情報
- I - 13 - b 動作分析
- I - 13 - c その他

## I - 14 遺伝子

- I - 14 - a 遺伝子多型
- I - 14 - b 遺伝子制御

## I - 15 その他

## II スポーツ医学的研究

### II - 1 スポーツと疾患

- II - 1 - a 呼吸器疾患
- II - 1 - b 循環器疾患
- II - 1 - c 代謝疾患
- II - 1 - d スポーツ外傷
- II - 1 - e スポーツ障害
- II - 1 - f スポーツ歯科
- II - 1 - g その他の疾患

### II - 2 リハビリテーション, 運動療法

### II - 3 薬物, ドーピング

### II - 4 スポーツ心理学

### II - 5 その他

## 大会までの重要な日程

演 題 登 録 期 間	4月11日(月)～5月26日(木) 正午まで
事 前 参 加 登 録 期 間	4月11日(月)～7月31日(日)
発 表 採 択 通 知 (E-mail)	7月上旬
予 稿 集 送 付	8月下旬
宿 泊 申 込 み	4月11日(月)～7月31日(日)
「体力科学6号」掲載用抄録登録期間	7月上旬(発表採択通知以降)～ 9月29日(木)正午まで
第 66 回 大 会	9月16日(金), 17日(土), 18日(日)
「体力科学1号」掲載用シンポジウム等 要旨登録締め切り日	9月29日(木)

## 日本体力医学会会員の皆様へ

現在、日本体力医学会では、希望された会員の方にのみ機関誌“体力科学”を送付しております。体力科学誌に掲載された原著論文等はJ-STAGEを介して公開しておりますが、体力科学誌には掲載されている“お知らせ”、“編集後記”等はJ-STAGEでは公開されない仕組みになっております。したがって、体力科学誌の送付を希望されない会員の方には“体力科学誌に掲載された全ての情報”をお伝えできないこととなります。そこで、体力科学誌に掲載された全ての内容をPDF化し、60巻1号より体力医学会ホームページで公開することに致しました。日本体力医学会ホームページの[menu>学会誌>バックナンバー]を入力することにより、閲覧することが出来ます。体力科学誌の配布を希望されない会員の皆様、是非ご活用下さい。

日本体力医学会  
編集委員長 鈴木政登

## 日本体力医学会、体力科学オンライン投稿審査システム 新システム[J-STAGE3]への移行に関するお知らせとお願い

平成22年4月1日よりスタートした体力科学オンライン投稿は、現在まで順調に運用されております。

オンライン投稿は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が構築したJ-STAGEのシステムを介して行なわれておりますが、現在利用している[J-STAGE2]の運用が平成24年3月31日で終了します。平成24年4月1日からの（JST）新システム[J-STAGE3]への完全移行に伴い、日本体力医学会としては、平成23年9月頃の運用開始の予定で準備を進めております。

今後、新システムへの移行により会員の皆様、査読審査の先生方にはご不便・ご迷惑をおかけすることになりますが、[J-STAGE3]への移行に伴う試行運用に対して多大なご協力をいただきたく何卒よろしくお願い致します。

日本体力医学会  
編集委員長 鈴木政登

## 平成22年度に査読をお願いした先生方は次の方々です

秋間 広 浅井 仁 荒尾 孝 石井 好二 石井 直 市橋 則 井上 國 今中 一 入江 裕 岩堀 祐 内尾 応 内山 行 種田 義 大貫 秀 岡野 浩一 小笠原 一 岡田 修 荻田 祐 沖熊 芳 小押 寺 小野 花 垣賀 善 加山 哲 柿野 美 狩茂 泰 加川 上 川久保 健 川中 隆 河端 秀 神林 勲 神笠 隆 衣下 光 木村 さか	木村 瑞生 木目 良太郎 牛凱 軍也 久野 譜也 熊谷 秋三 熊原 秀晃 神崎 素樹 小林立 成志 小宮山 伴与 小柳 好生 小真 樹義 澤田 亨 志波 直人 新開 省二 杉浦 崇夫 菅鈴 俊光 鈴鈴 秀次 関木 英樹 関谷 彦 田内 健二 高橋 幸 武政 徹 田畑 穗 田村 泉 辻本 史 筒井 弥 鶴池 明 遠山 一 鳥居 俊 内藤 士 内藤 彦 中井 也 中村 豊 成田 穂 萩田 裕美子	八田 秀雄 浜岡 隆文 平川 和文 平野 裕一 広瀬 統一 福澤 典一 藤野 宏之 藤原 英幸 藤原 勝己 船渡 和夫 前田 清男 真下 一司 増原 光策 町田 修彦 松坂 秀晃 松本 哉 三浦 史 三浦 久美子 湊崎 充功 宮田 浩文 宮地 元彦 宮西 智久 宮本 直和 村瀬 訓生 室月 増男 望谷 敏久 森本 夫 森本 茂 山田 利 山田 一 山田 哲 山田 憲 山田 睦 吉武 陸 芳田 哲 涌井 佐和子
---	---	---

## 日本体力医学会定例理事会（2010年9月）議事録

日 時：2010年9月15日(水) 午後6時00分～7時30分

場 所：市川グランドホテル 6階 橋の間

議 長：吉岡利忠理事長

出席者：吉岡利忠, 今泉和彦, 碓井外幸, 大野 誠,  
小野寺昇, 坂本静男, 下光輝一, 下村吉治,  
鈴木政登, 永富良一, 西牟田守,  
浜岡隆文各理事, 小林康孝監事,  
成澤三雄 (第65回大会長・千葉),  
種田行男 (将来構想検討委員会委員)

欠席者：荒尾 孝, 加賀谷淳子, 勝村俊仁, 川原 貴,  
栗原 敏, 小林寛道, 佐藤祐造, 田中喜代次,  
田中宏暁, 西平賀昭, 福永哲夫,  
森谷敏夫各理事, 能勢 博監事,  
江橋 博 (第66回大会長・山口)

はじめに成澤大会長より挨拶をいただいた。

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。また、議事録署名人として碓井、大野両理事が指名された。

#### 2. 2010年度庶務報告に関する件 (小野寺総務委員長)

2010年8月31日現在、会員総数5,207名、新入会員427名、退会者413名(内自然退会211名)であるとの報告がなされた。また、3年以上会費未納者リストが提示され、評議員を除く3年以上会費未納者を自然退会とすることが承認された。

(3年以上会費未納者の評議員には再度督促を行うこととした)

#### 3. 2010年度会計(決算)に関する件 (下光財務委員長)

収入の部 予算に比べて会費収入が約165万円、雑収入が約120万円増収(名簿作成費残金が雑収入に繰り入れられた為)となり、年度内収入は55,341,469円であった。

支出の部 事業費が予算より約570万円少なく済んだため、全体の支出予算より約590万円少なく済み、年度内支出としては47,056,738円であった。

以上により当年度収支としては約922万円の黒字となり、次年度繰越金は65,615,457円になったとの報告がなされた。引き続き小林監事より監査報告が行われ、2010年度

決算が承認された。

また、小林監事より下記：3件について検討を行って頂きたいとの提言が行われ、協議を行った結果、学会財産の有効な活用方法について今後も継続して検討を行うことが決定された。

- ・会員名簿の作成方法について
- ・学会大会補助金の増額について
- ・財産の有効活用(研究助成/補助の実施)について

#### 4. 2011年度会計(予算案)に関する件 (下光財務委員長)

2011年度予算案が提示された。学会誌のオンライン化やオンライン投稿制度の開始に伴い、学会誌の印刷費及び送料を前年より減額し、編集費及びHP管理費を前年より増額した旨及びそれ以外の項目についてはほぼ前年度通り計上し、2011年度の当期収支としては50万程度の赤字になる予定である旨の説明がなされ、審議の結果、2011年度予算が承認された。(収入合計51,485,000円、支出合計51,980,000円の予定)。

#### 5. 評議員会長代行に関する件(小野寺総務委員長)

9月9日付けの書面にて、加賀谷淳子評議員会長より吉岡理事長宛に「評議員会長辞任の届出」があったことが報告され、承認された。

また、加賀谷評議員会長の辞任に伴い、本学会定款に定められている「役員欠員についての規程」に基づいて選挙管理委員会を立ち上げ、2ヶ月以内に評議員会長選挙を実施する予定である旨の報告が行われ、併せて総務委員会より下記：2点の提案が行われた。

- ①上記：評議員会長選挙の選挙管理委員長として、中原凱文先生(和洋女子大学 教授)が推薦され、審議の結果、承認された。
- ②今大会で行われる評議員会・総会について、本理事会から成澤第65回大会長を評議員会長代行として評議員会・総会に推薦を行う旨の提案が行われ、審議の結果、承認された。

#### 6. 評議員推薦に関する件 (今泉委員長)

評議員選考委員会において申請者18名に対しての資格審査を行い、その結果18名全員が資格を有すると認めた旨の報告がなされ、2010年度評議員候補者として18名を評議員会に推薦することが承認された。

また、評議員選考委員会において評議員申請書類の修正を行い、学会ホームページに掲載を行った旨及び現評議員の年齢構成について調査を行った旨の報告が行われ、

各理事に対して積極的に若手研究者を推薦して頂きたい旨の依頼がなされた。

#### 7. 第21回スポーツ医学研修会修了試験結果について(碓井称号委員長)

研修会を受講した内の27名が8月29日に修了試験(試験問題50問)を受け、21名が合格した旨と試験の概要について報告がなされ、承認された。

#### 8. 2010年度健康科学アドバイザー新規称号認定者について(碓井称号委員長)

健康科学アドバイザーの新規申請者9名の氏名リストが提示され、承認された。

#### 9. 第67回日本体力医学会大会(岐阜)大会長について(小野寺総務委員長)

本学会定款に基づき、第67回大会設立準備委員会より、第67回大会長候補者として「古田善伯先生(岐阜大学・名誉教授)」が推薦されている旨の報告がなされ、理事会として承認された。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

##### 1) 総務委員会(小野寺委員長)

- ・第65回大会総会で、第66回大会(山口)大会長(江橋博先生)及び第67回大会(岐阜)大会長(古田善伯先生)の推薦を行い、承認を頂く予定である旨の報告がなされた。
- ・平成25年から平成26年の法人化を目指して準備を行っている旨及び本理事会開催前に地方会代表者会議を開催し、「法人化に伴う地方会のあり方」について協議を行った旨の報告がなされた。
- ・法人化に伴う本学会定款の修正作業を進めていく予定である旨の報告がなされた。

##### 2) 編集委員会(鈴木委員長)

- ・JST(独立行政法人科学技術振興機構: Japan Science and Technology Agency)が構築したJ-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)への「体力科学」誌掲載について、掲載論文の著作権処理のために3月31日をメ切として「体力科学」誌及び本学会ホームページで行っていた「著作権譲渡依頼」に対して異議の連絡が1件もなかった為、「体力科学」誌に掲載された全ての著作権が本学会に帰属することになった旨及びJ-STAGE掲載の進捗状況について、10月中旬に全巻の掲載が完了する予定である旨の報告がなされた。

・「体力科学」誌のオンライン投稿について、投稿システムの問題点等の報告がなされた。

・運動処方指針(原書第8版・南江堂)の翻訳について、2011年初頭の出版に向けて編集作業を行っている旨の報告がなされた。

・「体力科学」誌の欧文誌化について、オンラインジャーナル化の進行具合を見極めた上で、実施を行う予定である旨の報告がなされた。

#### 3) 渉外委員会(坂本理事, 永富理事)

##### I) FIMS(国際スポーツ医学会)

・2010年5月19日~22日に31回大会がプエルトリコで開催された旨の報告がなされた。

##### II) ECSS(ヨーロッパスポーツ科学会)

・本年度に実施されたECSS大会へのシンポジストの派遣について、来年度も実施を行う予定である旨の報告がなされた。またシンポジストから報告書の提出があった旨及び同報告書について「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。

##### III) ACSM(米国スポーツ医学会)

・本年度に実施されたACSM大会への参加助成制度について、来年度も実施を行う予定である旨の報告がなされた。また本年度助成対象者から参加報告書の提出があった旨及び同報告書について「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。

・本学会とACSMとの交流事業の実施について、現在、検討を行っている旨の報告がなされた。

##### IV) 他国との交流事業

・来年度以降の実施に向けて継続して検討を行う予定である旨の報告がなされた。

##### V) その他

・第65回大会(千葉)の国際セッション発表等について報告がなされた。

・国内他学会との交流について、今後、各委員会と協力して検討を行っていききたい旨の報告がなされた。

#### 4) 学術委員会

##### ①スポーツ医学研修会実行委員会(鈴木委員長)

第21回スポーツ医学研修会は7月2日~3日(基礎コース・受講者36名)、8月27日~28日(応用コース・受講者37名)の日程で慈恵医大の新橋校において開催された旨及び受講者にアンケート調査を行った旨の報告がなされた。

また、上記のアンケートの調査結果を踏まえ、来年も7月1日~2日(基礎コース)、8月5日~6日(応用コース)の日程で研修会を開催する予定である旨が報告され、併せて講師の変更及びテキストの改訂を行う予定である旨の報告がなされた。

## ②称号委員会(碓井委員長)

- ・本理事会で授与が承認された9名の新規授与者を含む現在までの称号贈呈者数及び授与者数(贈呈者:37名, 授与者:247名)について報告が行われ, 併せて昨年度(2010年度)1年間の称号授与状況について報告がなされた。
- ・スポーツ医学研修会の応用コース最終日に実施している修了試験について, 受験者からの要望に基づき, 過去問題集の作成を行いたい旨の提案が行われ, 審議の結果, 承認された。

## ③プロジェクト研究委員会(大野委員長)

- ・配布資料に基づき, 平成23年度のプロジェクト研究の公募テーマの説明が行われ, 本学会ホームページ及び「体力科学」誌への掲載を通じて, 下記の3つの分野から研究計画の募集を行う予定である旨の報告がなされた。

- 1) 「特定保健指導(メタボ対策)に関する基礎的研究」
- 2) 「こどもの生活習慣と健康づくりに関する研究」
- 3) 「スポーツ科学(体力科学・体力医学)に関する研究」

- ・平成19年に採択が行われたプロジェクト研究(「メタボリックシンドロームの予防・治療のための運動療法: 体力医学的評価に基づく運動指針」(研究代表者: 佐藤祐造理事))の研究期間が終了した旨及び第66回(山口)大会において成果の発表を行って頂く予定である旨の報告がなされた。

## 5) 将来構想検討委員会(種田将来構想検討委員会委員)

- 配布資料に基づき, 今期の委員会活動について, 下記: 5つのワーキンググループを作成し活動を行った旨が

報告され, 併せてその活動内容について報告がなされた。

<将来構想検討委員会ワーキンググループ>

- ◎ 学会運営検討ワーキンググループ
- ◎ 大会運営検討ワーキンググループ
- ◎ ガイドライン検討ワーキンググループ
- ◎ プロジェクト研究検討ワーキンググループ
- ◎ セミナー検討ワーキンググループ

## 6) 倫理委員会(坂本委員長)

本学会の倫理審査の基準について説明が行われ, 今後, 他機関との連携等について更なる検討を行っていく予定である旨の報告がなされた。

## 2. 第66回大会の進捗状況(小野寺総務委員長)

大会の準備状況, 大会会場等についての報告があった。

会期: 2011年9月16日(金), 17日(土), 18日(日)

会場: 海峡メッセ及び下関市生涯学習プラザ(下関)

## 3. その他

- ・小野寺総務委員長より, 本理事会開催前に, 総務委員会の主催で, 地方会代表者会議(テーマ: 「地方会としての今後のあり方」)を開催し, 下記の案件について検討を行った旨及び今後も毎年の大会時に同会議を開催し, 上記の案件等について検討を行っていく予定である旨の報告がなされた。

- ◎ 地方会の空白地域の削減について
- ◎ 定款変更を含む地方会名称の統一化について
- ◎ 地方会財務の透明性の向上について

## 日本体力医学会評議員会・総会（2010年9月）議事録

日 時：2010年9月17日(金)

午後4時00分～午後5時00分

場 所：千葉商科大学 702号室(A会場)

総会議長：吉岡利忠 理事長

評議員会議長(代行)：成澤三雄第65回大会長

(内)申 込 者 202名

自然退会 211名

議事に先立ち、成澤大会長より、挨拶と第65回大会概要の報告が行われた。

評議員会は委任状を含む参加者が過半数を超えており、成立することが確認された。

続いて小野寺総務委員長より、9月9日付けの書面にて、加賀谷淳子評議員会長より吉岡理事長宛に「評議員会長辞任の届出」があったことが報告された。

また、加賀谷評議員会長の辞任に伴い、総務委員会より下記：2点の提案が行われた。

- ①本学会定款に定められている「役員の欠員についての規程」に基づいて選挙管理委員会を立ち上げ、2ヶ月以内に評議員会長選挙を実施する予定である旨及び同選挙管理委員会の委員長として、理事会から中原凱文先生(和洋女子大学 教授)が推薦された旨の報告が行われ、承認がなされた。
- ②本会での評議員会長代行として、理事会から成澤三雄大会長が推薦された旨の報告が行われ、承認がなされた。

### 【審議事項】

#### 1. 2010年度庶務報告に関する件（小野寺総務委員長）

##### 1) 会員総数5,207名（2010年8月31日現在）

名誉会員	31名
正 会 員	4,981名
外国会員	39名
購読会員	150団体
賛助会員	6団体

(財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団,  
大塚製薬(株), 鶴岡印刷(株), フクダ電子(株),  
(財)明治安田厚生事業団, (株)ブルボン

##### 2) 役員数

評 議 員	503名
(内)理事	24名
監 事	2名

##### 3) 年度内入退会状況

新入会員	427名
退 会 者	413名

#### 2. 2010年度会計(決算)に関する件（下光財務委員長）

以下のとおり2010年度決算についての報告がなされた。

収入の部 予算に比べて会費収入が約165万円、雑収入が約120万円増収(名簿作成費残金が雑収入に繰り入れられた為)となり、年度内収入は55,341,469円であった。

支出の部 事業費が予算より約570万円少なく済んだため、全体の支出予算より約590万円少なく済み、年度内支出としては47,056,738円であった。

以上により当年度収支としては約922万円の黒字となり、次年度繰越金は65,615,457円になったとの報告がなされた。引き続き能勢監事より監査報告ならびに以下の要望がだされ、2010年度決算が承認された。

- ・会員名簿の作成方法等について検討を行って頂きたい
- ・学会大会補助金の増額について検討を行って頂きたい
- ・財産の有効活用(若手研究者に対する補助の実施等)について検討を行って頂きたい

#### 3. 2011年度会計(予算案)に関する件（下光財務委員長）

昨年度と比較して、「研修会収入」、「論文掲載料等収入」ならびに「学会誌発行費」以外は前年度同様に計上した旨の説明がなされた。また、2011年度の当期収支としては50万程度の赤字になる予定である旨がなされ、収入合計51,485,000円、支出合計51,980,000円で承認された。

#### 4. 評議員推薦に関する件（成澤評議員会長代行）

2010年度評議員推薦に関しては18名の推薦があり、評議員選考委員会で評議員選考規定に従って審査を行い、その結果18名全員について評議員資格を有するとの報告に基づき、承認された。

##### 新評議員（18名）

家光 素行	枝松 千尋	大槻 毅
大橋 二郎	木下 幸文	呉 泰雄
重松 良祐	白土 健	菅原 順
鈴木 淳一	高橋 康輝	谷端 淳
長谷川 博	牧田 茂	水村 真由美
安松 幹展	山口 英峰	琉子 友男

## 5. 第66回日本体力医学会大会（山口）開催について（小野寺総務委員長）

理事会から第66回（山口）大会長候補として江橋博会員（東亜大学教授）が推薦され、全会一致で承認された。引き続き江橋大会長から挨拶が行われた。

## 6. 第67回日本体力医学会大会（岐阜）開催について（小野寺総務委員長）

理事会から第67回（岐阜）大会長候補として古田善伯会員（岐阜大学名誉教授）が推薦され、全会一致で承認された。引き続き古田大会長から挨拶が行われた。

また、第68回大会（東京）以降の大会開催予定の案内がなされた。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

##### 1) 総務委員会（小野寺委員長）

- ・本学会の法人化について、平成25年頃の実施を目指して準備を行っている旨の報告がなされた。
- ・「法人化に伴う地方会のあり方(地方会財務の透明性の向上, 地方会の活性化等)」について地方会代表者会議を開催し検討を行っている旨及び今後も毎年の大会時に同会議を開催し、検討を行っていく予定である旨の報告がなされた。

##### 2) 編集委員会（鈴木委員長）

- ・JST(独立行政法人科学技術振興機構：Japan Science and Technology Agency)が構築したJ-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)への「体力科学」誌掲載について、掲載論文の著作権処理のために3月31日をメ切として「体力科学」誌及び本学会ホームページで行っていた「著作権譲渡依頼」に対して異議の連絡が1件もなかった為、「体力科学」誌に掲載された全ての著作権が本学会に帰属することになった旨及びJ-STAGE掲載の進捗状況について、10月中旬に全巻の掲載が完了する予定である旨の報告がなされた。また、外部検索サイト6社とリンク契約を行った旨の報告がなされた。
- ・「体力科学」誌の投稿について、2010年4月1日より原著論文の投稿にオンラインシステムを導入し、従来の紙媒体投稿と併用している旨の説明が行われ、併せて現在までの投稿状況、オンライン投稿システムの問題点等について報告がなされた。
- ・運動処方指針（原書第8版・南江堂）の翻訳について、2011年1月の出版に向けて作業を行っている旨の報告がなされた。
- ・「体力科学」誌の欧文誌化について、オンライン

ジャーナル化の進行具合を見極めた上で、実施を行う予定である旨の報告がなされた。

- ・「体力科学」誌への投稿資格について、理事会で検討を行い、投稿資格から会員要件を削除し、会員、非会員に関わらず投稿を受け付けることが決定された旨が報告された。また、掲載料についても、理事会で検討を行い、筆頭著者が会員である場合は6頁までの掲載料を本学会が負担することとし、6頁を超えた場合の料金については1頁につき3千円とすることが決定され、筆頭著者が会員でない場合には1頁につき3千円の掲載料を徴収することが決定された旨の報告がなされた。
- ・日本医学会で作成を行っている「医学用語辞典」について、本学会会員は日本医学会ホームページから無料で利用できる旨の紹介が行われ、併せて同辞典を利用する際のログインID及びパスワードの紹介がなされた。
- ・「体力科学」誌のオンライン化に伴い、英語版ホームページの作成を検討している旨の報告がなされた。

##### 3) 学術委員会

###### ①スポーツ医学研修会（鈴木委員長）

今年（第21回）の研修会について下記のとおり報告がなされた。

基礎コース	7月2日(金)・3日(土)	受講者36名
応用コース	8月27日(金)・28日(土)	受講者37名
修了試験	8月29日(日)	

来年度も下記の日程で開催する予定である旨の報告がなされた。

基礎コース	7月1日(金)・2日(土)
応用コース	8月5日(金)・6日(土)
修了試験	8月7日(日)

また、受講者にアンケート調査を行った旨が報告され、来年度は上記のアンケートの調査結果を踏まえ、講師の変更及びテキストの改訂を行う予定である旨の報告がなされた。

###### ②称号委員会（碓井委員長）

- ・2010年度健康科学アドバイザー称号認定者(下記)の報告がなされた。
- ・学会ホームページに学術委員会(称号委員会、スポーツ医学研修会、プロジェクト研究委員会)の専門コーナーを作成した旨の報告がなされた。
- ・スポーツ医学研修会の応用コース最終日に実施している修了試験について、受験者からの要望に基づき、過去問題集の作成を行う予定である旨の報告がなされた。

- ・新規12名(第20回研修会)
 

榎本 紀行	大内奈々恵	大崎 栄	
斧研 洋幸	芝田 竜文	清水 暢子	
砂田 真弓	高橋 章	土肥 新	
中村 大河	松本 恵	箭内 淳	

- ・新規 9 名(第21回研修会)
 

今永 一成	上田 真也	高寄 正樹	
張間 裕子	兵頭 圭介	星 研一	
三井 利仁	三輪 雅子	村松 達之	

- ・継続18名
 

相澤 徹	五十嵐貴仁	石井 緑	
小貫 睦巳	表 郁夫	河田 繁治	
白石 尚基	新矢 博美	鈴木 和郎	
須山 浩光	田崎 博識	西岡 広樹	
野村 芳樹	古林 俊晃	松元 義人	
松山 茂	村瀬 智彦	山口 正信	

### ③プロジェクト研究委員会(大野委員長)

- ・2010年度のプロジェクト研究公募へは3件の応募があり、下記の研究が採択された旨の報告がなされた。

-----  
採択プロジェクト研究:

「高齢者の介護予防を目的とした総合的指針作りー生活機能評価尺度および基準値の作成と新・人材育成システムの提案ー」

研究代表者:大藏 倫博

(筑波大学大学院人間総合科学研究科/准教授)

-----  
また、平成23年度のテーマについて、学会誌及び本学会ホームページで案内を行う予定である旨の報告がなされた。

### 4) 渉外委員会(坂本渉外委員会委員)

#### ①FIMS(国際スポーツ医学会)について

2010年5月19日~22日に第31回大会がプエルトリコで開催された旨が報告された。

#### ②AFSM(アジアスポーツ医学会)について

2009年12月3日~6日に第13回学術大会及び理事会

がインド(アムリトサル)で開催された旨の報告がなされた。また、同学会中に開催された役員選挙において、坂本静男理事が同医学会理事として再任された旨が報告された。

#### ③ACSM(米国スポーツ医学会)について

- ・ACSM大会に本学会から優秀論文発表者を派遣した旨及び同参加助成制度について、来年度も実施を行う予定である旨が報告され、奮って応募を頂きたいとの依頼がなされた。

- ・ACSMとの更なる交流について委員会内で検討を行っている旨の報告がなされた。

#### ④ECSS(ヨーロッパスポーツ科学学会)との交流事業について

- ・2010年6月23日~26日にトルコ(アンタリヤ)で大会が開催され、2名の交流シンポジストを派遣した旨及びECSS学会賞を日本人1名が受賞したこと等について報告がなされた。また、2011年度もECSS大会へのシンポジスト派遣を実施する予定である旨が報告され、奮って応募を頂きたいとの依頼がなされた。

- ・第65回大会国際セッションへのECSSからの参加者数等について報告がなされた。

#### 5) 倫理委員会(坂本委員長)

評議員会開催前に、公開シンポジウム:「体力医学的研究遂行と倫理上の問題」を開催した旨及び今後も引き続き、シンポジウム・講演等を行い、倫理に関する検討を行っていく予定である旨の報告がなされた。

#### 6) 学会賞選考委員会(吉岡理事長)

学会賞選考委員会委員長について、任期満了に伴う交替があった旨の報告がなされた(小林 康孝委員長→定本 朋子委員長)。また、学会賞選考委員についても委員長同様に任期満了に伴う交代があった旨の報告がなされた(委員名は非公開)。

#### 7) 将来構想検討委員会(吉岡理事長)

現在、委員会内に5つのワーキンググループを作成し、活動を行っている旨の報告がなされた。

## 第22回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です。メタボリックシンドローム危険因子保持者などを対象とした運動指導等であり、アスリート対象ではありませんのでご注意ください。

尚、平成23年度より新たな講師陣を加え、1)喫煙や環境汚染および加齢による慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)の運動による改善効果の機序や運動処方、2)降圧剤など薬物治療受診者の運動指導の適否、配慮すべき事項など、3)機能性食品と運動療法併用によるメタボリックシンドローム危険因子改善効果など、4)体組成とくに内臓脂肪の意義およびその測定実習、などの内容を加えました。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会の会員でない方も参加できます。また、他の研修会を受講し資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。尚、実習を行う関係上、各年度の募集人数に制限がありますことをご了解ください。

平成22年12月3日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

鈴木政登 碓井外幸 太田 真 中島幸則

### 1. 会場

会場は東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室などです。

### 2. 日時および研修カリキュラム

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項については既に習得されていることを前程にさらに進んだ生理学(神経・筋, 呼吸, 循環, 代謝など)や生化学, 栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。ここで学んだことを基盤として、(II) 応用コースへと進みます。

平成23年

7月1日(金)

9:00~10:30	運動と神経・筋
10:40~12:10	運動と呼吸
12:10~13:10	昼休み
13:10~14:40	運動と代謝(水・電解質およびエネルギー代謝)
14:50~16:20	運動と栄養
16:30~18:00	運動と循環
18:00~	懇親会(会費3000円, 参加自由)

7月2日(土)

9:00~10:30	運動処方の基礎
10:40~12:10	生活習慣病の運動処方(肥満・糖尿病・高脂血症)
12:10~13:10	昼休み
13:10~17:00	救急救命実習(人体模型を用いた実習)

## (II) 応用コース

このコースの講義では、有疾患者または薬物治療中の場合の運動適用の可否や運動指導の実際について学びます。実習では、自転車エルゴメータによる運動負荷試験を行い、それと関連した血液・尿検査結果を参考に運動処方を作成します。さらに、高齢者や喫煙習慣保持者の健康を脅かす慢性閉塞性呼吸器疾患を反映する呼吸機能検査、糖尿病性腎症等の腎機能異常の有無を知る尿検査、およびメタボリックシンドローム罹患の上流因子として重要な内臓脂肪蓄積状態を知る体脂肪測定などを実習します。その他に、テーピングや筋力トレーニング実習なども行われます。

8月5日(金)

9：00～10：30 高血圧症およびその他の循環器疾患の運動処方  
 10：40～12：10 運動器疾患の運動処方  
 12：10～13：10 昼休み  
 13：10～17：00 運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験，心電図記録，呼吸機能検査，尿検査，体組成測定実習）

8月6日(土)

9：00～12：00 運動処方の作成（前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し，実施させる）  
 12：00～13：00 昼休み  
 13：00～17：00 テーピングおよび筋力トレーニング実習

8月7日(日)

10：00～12：00 修了試験

注意：講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので，ご了承下さい。

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は，所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また，修了試験合格後，所定の手続きを経て，日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を取得することができます。

修了試験は平成23年8月7日(日)10：00～12：00に東京慈恵会医科大学で行います。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し，それに準じて講義が行われます。

### 5. 受講料

受講料は（I）基礎コース，（II）応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円，単科コース（基礎コース，応用コースの各コースを単独受講）を受講する場合はそれぞれ25,000円（2日間コース）です。2コースの受講を原則としますが，定員に余裕があれば単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば，全コース受講後修了試験を受験することができます。尚，学生受講者は30,000円（基礎・応用コース）と致します。ただし，学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが，2コース受講後に行われる修了試験に合格し，日本体力医学会“健康科学アドバイザー”の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければ

なりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。  
定員は各コース40名です。

#### 7. その他

健康運動指導士、実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

#### 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんのであらかじめご了承下さい。

#### 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-18 小石川アーバン4F  
一般社団法人 学会支援機構内  
日本体力医学会スポーツ医学研修会 係  
電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012  
E-mail：jspfsm@asas.or.jp

---

### 第22回 日本体力医学会スポーツ医学研修会 仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申込ます。（該当する□にレ印をつけてください。）

- 第22回基礎コース  
 第22回応用コース  
 試 験

氏 名

連絡先 〒 -

TEL :

FAX :

## 第151回日本体力医学会関東地方会のご案内

開催日：平成23年4月2日(土) 午後1時～  
 会場：財団法人三菱養和会 巣鴨スポーツセンター 別館2階  
 (JR巣鴨駅徒歩2分)  
 所在地：〒170-0002 東京都豊島区巣鴨2-8-1  
 TEL 03-3915-2634 (ダイヤルイン)  
 FAX 03-3915-2815

### シンポジウム

各世代における身体活動が骨量および骨代謝に及ぼす影響  
 座長 中原 凱文 (和洋女子大学大学院)

1. 発育期における運動習慣と骨量・骨代謝  
 永田 瑞穂  
 (財団法人三菱養和会 健康サポートセンター)
2. 青年期女性における運動習慣と骨代謝  
 小池 亜紀子 (和洋女子大学)
3. 高齢者における身体活動と骨量・骨代謝  
 北川 淳 (北里大学大学院)
4. 超高齢者における運動習慣と骨代謝  
 一寝たきり超高齢者のQUS指標との比較から—  
 中原 凱文 (和洋女子大学大学院)

### 一般口演

### 特別講演

企業における健康管理からスポーツクラブでの健康づくりに  
 ～医師としての立場から～  
 座長 吉岡 利忠 (弘前学院大学)  
 演者 穂苺 正臣  
 (前 財団法人三菱養和会 養和クリニック所長)

### ○一般口演の演題申し込み要領

1. 演題名, 発表者および共同研究者とその所属, 口演要旨 (400字程度), 連絡先 (氏名, 郵便番号, 住所, 電話およびFAX番号, E-mailアドレス) を下記のいずれかの方法でお送りください.  
 1) E-mailで送信する.  
 2) A4またはB5用紙にワープロで作成した原稿を郵送, またはFAXする.
2. 演題申し込み締め切り: 平成23年2月28日(月)
3. 送り先: 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨2-8-1  
 財団法人三菱養和会 健康サポートセンター  
 永田 瑞穂 宛  
 E-mail: nagata@yowa.or.jp  
 TEL: 03-3915-2634 (ダイヤルイン)  
 FAX: 03-3915-2815  
 ホームページ <http://www.yowakai.org/facility/>

奮ってご参加くださいますよう, ご案内申し上げます.

当番幹事: 永田 瑞穂  
 ((財)三菱養和会 健康サポートセンター)

## 第3回 CEPA Japan 開催のお知らせ

### CEPA Japan in Tsukuba

臨床運動指導専門家の社会的台頭を目指して

【日時】 2011年3月13日(日) 13:00~16:30

【会場】 筑波大学総合研究棟D

旅程：つくばエクスプレス線

秋葉原駅~つくば駅 快速で45分

つくばセンターから「筑波大学循環(右回り)」バス乗車「体芸前」下車

【参加費】 無料

【プログラム】

1. 米国 CEP との連携について現状報告 佐藤真治(大阪産業大学)

2. シンポジウム「臨床運動指導専門家の社会的台頭を目指して」

① 健康運動指導士の立場から

② 高齢者体力づくり支援士の立場から

③ 心リハ運動指導士の立場から

④ 医師の立場から

※演者未定

3. 筑波大学内の運動教室または大学施設の紹介

お問い合わせ：大阪産業大学人間環境学部スポーツ健康学部  
佐藤真治

E-mail: shinjisato2005hawaii@yahoo.co.jp

Tel: 072-875-3001/Fax: 072-875-3029

## 第37回日本整形外科スポーツ医学会学術集会

■会長：岩本 幸英(九州大学整形外科)

■会期：2011年9月23日(金)・24日(土)

■会場：福岡国際会議場

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

TEL：092-262-4111

■テーマ：スポーツ復帰に向けたトータル・ケア

■学会 HP：http://www.congre.co.jp/jossm2011/

■招待講演：

- ・ W. Norman Scott (Insall Scott Kelly Institute, USA)
- ・ Anthony Miniaci (Cleveland Clinic, USA)
- ・ William E. Garrett Jr. (Duke University, USA)
- ・ Marc R. Safran (Stanford University, USA)
- ・ Jeung-Tak Suh (Pusan National University, President of the KOSSM, Korea)

■主 題：

【演者指定】

- ・ ロコモティブシンドローム
- ・ 障害者のスポーツ
- ・ 肩関節のコンディショニング

・ スポーツ障害予防と現場復帰への道

・ ナショナルチームのメディカルサポート

・ 小児のスポーツ障害予防

・ 筋力トレーニング

【一般公募(一部演者指定)】

・ ACL再建術の術後評価

・ 半月板損傷後のスポーツ復帰

・ 股関節のスポーツ障害

・ 足部スポーツ障害の診断と治療

・ スポーツ復帰のための腰椎手術療法

・ 手、肘関節におけるスポーツ障害

・ 軟部組織損傷における超音波診断

■演題募集：2011年2月9日(水)~3月30日(水)

\* オンライン申込みのみ

(主題・一般口演・ポスター)

■問合せ先：〒810-0001 福岡市中央区天神1-9-17

株式会社コングレ九州支社内 運営事務局

TEL：092-716-7116 FAX：092-716-7143

E-mail：jossm2011@congre.co.jp

## 2011年米国スポーツ医学会 (American College of Sports Medicine:ACSM)

### 参加助成制度 募集要項

1. 2011年5月31日～6月4日に米国デンバーにおいて第58回ACSMが開催されます。例年多くの日本体力医学会会員が研究成果を報告しています。日本体力医学会では国際交流事業の一環として第58回ACSMにおいて特に優れた研究成果の発表を行う大学院生2名および若手研究者1名に対して参加を支援する助成金を贈呈することになりました。本会会員若手研究者および大学院生の積極的な応募を期待します。
2. 助成金の応募資格は以下の要件を満たすこととします。
  - (ア)第58回ACSMに演題登録を行い筆頭演者として発表することを予定している日本体力医学会会員。
  - (イ)2011年3月の時点での日本国内の大学院の在籍者(修士(前期)課程・博士(後期)課程・研究生を含む)、あるいは日本国内の研究機関・教育機関に所属する35才未満の若手研究者。
3. 助成金制度に応募する会員は、日本体力医学会会員番号、生年月日、氏名、提出した演題登録内容(タイトル・共同演者名・所属、抄録本文(いずれも英文))、及び2011年2月第1週に演題応募者に通知される演題採択結果、さらに大学院在籍者は学生証の写しと指導教員の推薦状(A4版1枚程度・書式自由)を2011年2月18日(金)午後5時までに電子メール(推薦状や学生証の写しも含めてできるだけPDFファイルでお送りください)で渉外委員会委員永富良一(nagatomi@med.tohoku.ac.jp)宛にお送りください。
4. 採択の可否は、渉外委員会が組織する推薦委員会で審議を行い2011年3月中旬頃までに決定し、本人に通知するとともに、本ホームページ上で発表者氏名と演題名を公表します。
5. 採択者には日本体力医学会より参加支援助成金として若手研究者1名に100,000円を大学院生2名にそれぞれ100,000円を支給します。
6. 不明な点、質問は渉外委員永富までメールでお知らせください。
7. 応募者が発表を行わない場合には助成を取り消すことがあります。

日本体力医学会渉外委員会

## 編 集 後 記

千葉県由市川市で開催された第65回日本体力医学会大会の初日はひどい雨に見舞われました。会場に向かうバスは片側一車線ながら交通量の多い県道の混雑で大きな遅れを出していました。長い行列を作ってようやく乗り込んだバスの車内で、目当ての講演が聴けないと肩を落とす参加者たちの声を耳にしました。

残念ながら聴き落してしまった講演や他と重なって聴けなかったシンポジウムの抄録が掲載されています。夜の盃をお預けにしたことも忘れて熱気に沸いたワークショップも心に残りました。魅力的な大会を実現して下さった成澤三雄大会長はじめ役員、委員の先生方に改めて感謝の気持ちが溢れます。

第66回山口大会の第2報も載っています。江橋博大会長のもと準備が着々と進んでいる様子が伝わってきます。どんな大会プログラムが待っているのでしょうか？海峡を望むふぐの地での研究交流に夢が膨らみます。

今号掲載の原著は7編です。昨年査読の労をお取りくださった先生方の一覧も掲載されています。私が本誌の編集委員を拝命したころ、査読を依頼したどの先生も査読をお引き受けくださることにいたく驚きました。

今の世に他人の論文の査読どころではないとばかりに断られたり、無視されたりすることが多いのが一般と違っておりました。ところが、多くの業務に急き立てられていらっしゃるはずの先生方が快く査読を引き受けてくださる

のです。体力医学を共に育てて行こうとする温かい姿勢に、日本体力医学会の熱い意気込みを感じました。

最近になって、本誌でも査読を引き受けていただけないことが多くなったと聞きました。あまりに仕事を立て込んできて、とうとう査読ができない状況に追い込まれてしまった先生方が増えているのかもしれませんが、一方、クリック一つで断れるオンラインの気楽さがいけないのではないかという見方もあります。オンライン化は本誌査読プロセス迅速化の良い契機になりました。しかしその合理化の陰で、失われそうになっているものもあるかもしれません。

査読依頼だけはきれいな筆文字の封書で送ってみたいだろう、などと想像したりもします。それは戯れとしても、査読において著者を想う建設的姿勢だけはしっかりと将来に繋ぎ、迅速だけではなく優れた特徴ある学会誌として発展してほしいものだと、こちらは真面目に願っています。

体力科学誌には原著だけでなく会員の皆様へのお知らせが掲載されています。今号からこのお知らせを日本体力医学会ホームページからも見ていただけるようにしました。従来からJ-STAGEで公開しております原著等とともにご活用ください。本誌の送付を受けていらっしゃる会員の方々にも早くこのことを知っていただきたく、皆様の身近の会員の方々にご案内いただけますと幸いです。

竹森 重

### Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol. 60, No. 1

#### 体 力 科 学 第60巻 第1号

平成 23 年 1 月 25 日 印 刷

平成 23 年 2 月 1 日 発 行

編 集 兼 発 行 者

鈴 木 政 登

発 行 所

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階  
一般社団法人 学会支援機構

日 本 体 力 医 学 会

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内

「体力科学」編集事務局

TEL・FAX(共通) 0235-22-3120

E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社